# サービスポータル利用ガイド



### 利用開始までの流れ

### サービスポータルを利用するまでの流れは、以下の通りです。

①アカウント通知書とデジタル証明 書をダウンロードする(P3-7)	②CA証明書をインストールする (P8-17)	③管理者用証明書をインストール する (P18-26)	
サービスポータルへ接続するため に必要なデータをダウンロードし ます。 ・ アカウント通知書 ・ 管理者用証明書	CA証明書のインストールを行いま す。 サービスポータルのサーバ証明書 を発行するCAです。	管理者用証明書のインストールを 行います。	④サービスポータル 利用開始 (P27-34)

サービスポータルとは、ソリトンシステムズのクラウドサービスを利用するにあたり必要な管理機能、ドキュメントその他の情報を提供する Webサイトです。

本文書では、Windows10のPCにて、ブラウザとしてGoogle Chromeを使用した場合の操作画面を用いています。

その他の環境では表示される画面や手順が異なる場合があります。



#### 「サービス開始のお知らせ」メールに記載されているURLをクリックします。

差出人 Soliton Cloud Service Operation Center <no-reply@soliton-ods.jp> 分 件名 サービス開始のお知らせ 宛先 本メールに添付されたファイルは、システムで保管されています。 ファイルを確認するには、下記URLにアクセスしてください。 https://www.hiqzen.jp/public/ 株式会社ソリトンシステムズ ご担当者様 ソリトンシステムズ Cloud Serviceアカウント案内事務局です。 このたびはにお申込みいただき誠にありがとうございます。 のサービス開始手続きが完了しました。 「InfoTrace 360 アカウント通知書」に、 お客様のアカウント情報を記載しておりますので、最初にご参照ください。 また、サービスのご利用開始時に必要な文書を以下に公開しております。 https://www.soliton.co.jp/xxxx/ こちらにございます 「サービスボータル利用ガイド(アカウント通知から利用開始まで)」 をご参照いただき、サービスのご利用をお願い致します。 ご不明の点は以下のサポート窓口までお問い合わせください。 株式会社ソリトンシステムズ クラウドサービスサポート https://www.soliton.co.jp/support/contact/cloud/ お問い合わせの際、下記サポートIDが必要です。 サポートID: it360aXXXXX 今後とも弊社サービスをご愛顧の程よろしくお願いいたします。 このメールはアカウント通知専用システムから送信されています。 このメールには返信しないようお願いいたします。 株式会社ソリトンシステムズ Cloud Serviceアカウント案内事務局

ブラウザが起動し、以下の画面が表示されます。

メールアドレス欄へ「サービス開始のお知らせ」を受け取ったメールアドレスを入力して、「パスワード取得」をクリックします。



先ほど入力したメールアドレスへ、以下のメールが届きます。 <u>ワンタイムパスワードに記載されている文字を、「パスワード」欄へ入力し、「パスワード送信」をクリックします。</u>

差出人 HiQZen System <noreply@hiqzen.jp>☆ 件名 ワンタイムパスワードのお知らせ 宛先 先程、要求のありましたファイルダウンロードの ワンタイムパスワードをお知らせします。</noreply@hiqzen.jp>	HiQZen Web公開メール認証ログイン
	送信者によりパスワードロックがかけられています。 以下よりパスワードを取得し、ファイルをダウンロードしてください。
※このバスワードは一度だけ利用できます。 ※本メールには返信しないでください。	2.パスワード送信 メールに記載されたパスワードを入力してください。 ※パスワードは一度ご使用いただくと、再度ご利用はできません。
	パスワード パスワード送信
	最初からやり直す

#### チェックボックスをONにしてから、一括ダウンロードします。

🜔 HiQZen	Web公開			
公開アドレス: https://w	ww.hiqzen.jp/			
● 一括ダウンロード				i
□ 名前 へ		サイズ	更新日時	種類
🔲 🗐 cacert.cer		2KB	2021/05/21 18:17:19	cer
it360aXXXXX_1	E.p12	5KB	2021/05/21 18:17:11	p12
株式会社ソリトン	システムズ様_InfoTrace360アカウント通知書.pdf	210KB	2021/05/21 18:17:02	pdf

#### ※ファイル名は、お客様毎に異なります。



### ダウンロードしたファイルを解凍し、cacert.cerを実行します。

名前	更新日時	種類	サイズ
🔒 株式会社ソリトンシステムズ様_InfoTrace360アカウント通知書.pdf	2021/05/21 17:59	Adobe Acrobat D	210 KB
🔄 cacert.cer	2021/05/11 21:35	セキュリティ証明書	2 KB
👰 it360aXXXXX_1E.p12	2021/05/21 18:09	Personal Informati	5 KB

#### 「証明書のインストール」を選択します。

<b>6</b> 8	证明書	$\times$
全角	皮 詳細 証明のパス	
	証明書の情報     ごの CA ルート証明書は信頼されていません。信頼を有効にするにはこの証明書を信頼されたルート証明機関のストアにインストールしてください。	
	発行先: Smart eGate Root CA	
	発行者: Smart eGate Root CA	
	有効期間 2020/08/02 から 2047/08/03	
	証明書のインストール(I) 発行者のステートメント(S)	
	OK	

#### 「次へ」を選択します。

÷	☞ 証明書のインポート ウィザード	×
	証明書のインポート ウィザードの開始	
	このウイザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リストをディスクから証明書ストアにコピー します。	
	証明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データを保護したり、またはセキユリティで保護 されたネットワーク接続を提供するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管されるシステ ム上の領域です。	
	保存場所 ④ 現在のユーザー(C)	
	〇 ローカル コンピューター(L)	
	続行するには、[次へ]をクリックしてください。	
	次へ(N) キャンセノ	l I

#### 「証明書をすべて次のストアに配置する」を選択し、「参照」を選択します。

÷	☞ 証明書のインポート ウィザード	×
	証明書ストア 証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。	
	Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。	
	<ul> <li>○ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)</li> <li>● 証明書をすべて次のストアに配置する(P)</li> </ul>	
	証明書ストア: 参照(R)	
	次へ(N) キャンセ	,

#### 「信頼されたルート証明機関」を選択し、「OK」します。



#### 「次へ」を選択します。

÷	☞ 証明書のインポート ウィザード	×
	証明書ストア 証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。	
	Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。	
	<ul> <li>○ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)</li> <li>● 証明書をすべて次のストアに配置する(P)</li> </ul>	
	証明書ストア: 信頼されたルート証明機関 参照(R)	
	次へ(N) キャンセル	ŀ

#### 「完了」を選択します。

÷	<i>₽</i> 1	証明書のインポート ウィザード			×
		証明書のインポート ウィザ	ードの完了		
		[完了] をクリックすると、証明書が	インポートされます。		
		次の設定が指定されました:			
		<ul> <li>(の) 設定が指定されないこ</li> <li>ユーザーが選択した証明書ストア 内容</li> </ul>	信頼されたルート証明機関 証明書		
				完了(F) キャン	セル

#### 「はい」を選択します。

セキュリティ	晉告	×
	発行者が次であると主張する証明機関 (CA) から証明書をインストールしよ うとしています:	
	Smart eGate Root CA	
	証明書が実際に "Smart eGate Root CA" からのものであるかどうかを検 証できません。"Smart eGate Root CA" に連絡して発行者を確認する必 要があります。次の番号はこの過程で役立ちます:	
	拇印 (sha1): EDF933B0 F7B9A821 21AE1055 E1615FEF AC21FC0B	
	警告: このルート証明書をインストールすると、この CA によって発行された証明書は 自動的に信頼されます。確認されていない拇印付きの証明書をインストール することは、セキュリティ上、危険です。[はい] をクリックすると、この危険を認 識したことになります。	
	この証明書をインストールしますか?	
	はい(Y) いいえ(N)	



#### 「OK」を選択します。





### 解凍フォルダへ戻り、.p12形式のファイルを実行します。

名前	更新日時	種類	サイズ
🖲 株式会社ソリトンシステムズ様_InfoTrace360アカウント通知書.pdf	2021/05/21 17:59	Adobe Acrobat D	210 KB
🙀 cacert.cer	2021/05/11 21:35	セキュリティ証明書	2 KB
it360aXXXXX_1E.p12	2021/05/21 18:09	Personal Informati	5 KB

※ファイル名は、お客様毎に異なります。

#### 「次へ」を選択します。

÷	☞ 証明書のインポート ウィザード	×
	証明書のインポート ウィザードの開始	
	このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リストをディスクから証明書ストアにコピー します。	
	証明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データを保護したり、またはセキュリティで保護 されたネットワーク接続を提供するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管されるシステ ム上の領域です。	
	─保存場所 ● 現在のユーザー(C)	
	○ ローカル コンピューター(L) 続行するには、 [次へ] をクリックしてください。	
	次へ(N) キャンセ	١

#### 「次へ」を選択します。

÷	☞ 証明書のインポート ウィザード	×
	インボートする証明書ファイル	
	インポートするファイルを指定してください。	
	ファイル名(F):	
	注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます:	
	Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX,.P12)	
	Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B)	
	Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)	
	次へ(N) キャンセル	,

#### アカウント通知書の「初期パスワード」をパスワードへ入力し、次へを選択します。

×		【アカウ	フント通知書サンプル】
←   参 証明書のインポート ウィザード		InfoTrace 360	
秘密キーの保護		-	アカウント通知書
セキュリティを維持するために、秘密キーはパスワードで保護されています。		InfoTrace 360 にお申し込みいただきまして、誠にありがとうございます。 本サービスをご利用いただくにあたり、必要な情報をお知らせいたします。	
秘密キーのパスワードを入力してください。		お客様名 サービス名	サービス突約情報 株式会社ソリトンシステムズ
パスワード(P):		USB デバイス制御オプション 開通日	無 2021-05-20
		課金開始日 契約ライセンス数 <b>アクセス先、</b>	1970-01-01 10 および、ユーザーアカウント情報
□ / λ/ - トの表示(D) - インポートオブション(I):		サービスボータル アクセス先 URL	https://www02.soliton-ods.jp
○ 秘密キーの保護を強力にする(E) このオブミョンを有効にすると、秘密キーがアプリケーションで使われるたびに確認を求めにれます。		1 - サーニー 初期パスワード クライアント接続先	1234ABod
□ このキーをエクスポート可能にする(M) まーのバックアップやトランスポート可能にする(M)		管理サーバー通信先ホスト名 ログ送信先サーバー通信先ホスト名 アンインストールパスワード	i380-XX-mgmt.soliton-ods.jp i380-XX-Igfw.soliton-ods.jp ABcd1234
□ 仮想化ベースのセキュリティを使用して秘密キーを保護する(エクスポート不可)(P)			サポートロ
✓ すべての拡張プロパティを含める(A)		■サポート窓口名 株式会社ソリトンシステムズ クラウド4 ■受付フォーム URL	+ービスサポート
次へ(N) キャンセル		https://www.soliton.cojp/support/cont サポート ID は、お問い合わせをご利用し ■営業時間 9:00~17:30(土・日・祝祭日、12/29~1/	ut/cloud/ いただく際に必要となります。 4 は除く)

#### 「次へ」を選択します。

÷	☞ 証明書のインボート ウィザード	×
	証明書ストア	
	証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。	
	Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。	
	● 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)	
	○ 証明書をすべて次のストアに配置する(P)	
	証明書ストア:	
	参照(R)	
	次へ(N) キャンセノ	,

#### 「完了」を選択します。

÷	🍠 ពី	[明書のインポート ウィザート	t.		×
		証明書のインポート	ウィザードの完了		
		[完了] をクリックすると、証	明書がインポートされます。		
		次の設定が指定されました			
		選択された証明書ストア	ウィザードで自動的に決定されます		
		内容	PFX		
		ファイル名	C:¥Users	4ABC1234567.p12¥ABC	
		<		>	
				完了(F) キャンセル	,

#### 「はい」を選択します。

セキュリティ	(警告	$\times$
	発行者が次であると主張する証明機関 (CA) から証明書をインストールしよ うとしています:	
	ca.eps-2.soliton-ods.jp	
	証明書が実際に "ca.eps-2.soliton-ods.jp" からのものであるかどうかを検 証できません。"ca.eps-2.soliton-ods.jp" に連絡して発行者を確認する必 要があります。次の番号はこの過程で役立ちます:	
	拇印 (sha1): 969BD3F6 A253A6EA 1D1736EE 308D1358 AFADB8B9	
	警告: このルート証明書をインストールすると、この CA によって発行された証明書は 自動的に信頼されます。確認されていない拇印付きの証明書をインストール することは、セキュリティ上、危険です。[はい] をクリックすると、この危険を認 識したことになります。	
	この証明書をインストールしますか?	
	はい(Y) いいえ(N)	

#### 「OK」を選択します。



#### デジタル証明書の設定は以上で完了です。



#### Google Chromeを起動し、アドレスバーへ「アクセス先URL」を入力します。



9:00~17:30(土・日・祝祭日、12/29~1/4 は除く)

### クライアント証明書を選択し、「OK」を選択します。

証明書の選択			×
www02.soliton-ods.jp:443 での認証	に使用する証明書を選択してく	ください	
件名	発行元	シリアル番号	^
	ca.eps-2.soliton-ods.jp		
			<b>~</b>
	_		
証明書情報		ОК	キャンセル

クライアント証明書が複数ある場合は、発行元が"ca.eps-2.soliton-ods.jp"となっているものを選択します。 件名はお客様毎に固有の件名となっており、p12ファイル名と同じ文字列です。



#### 「ユーザー名」にアカウント通知書の「ユーザーID」を、「パスワード」にアカウント通知書の「初期パス ワード」を入力し、ログインを選択します。





#### ログインが完了し、各メニューが表示されます。



#### 表示されるメニューは、サービスやオプションにより異なります。



#### 「オプション」より、「パスワード変更」を選択します。



• <u>お知らせトップ</u>

#### 「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワードの確認」を入力し、「変更」を選択します。

<b>A</b>		オプション 🔸
● パスワ	ード変更	
<ul> <li>ユーザー名</li> </ul>		
<ul> <li>現在のパスワ</li> </ul>	- h <sup>°</sup>	
現在のパスワ	<i>1−</i>   <sup>×</sup>	
<ul> <li>新しいパスワ</li> </ul>	-  \$	
新しいパスワ	J− F <sup>×</sup>	
<ul> <li>パスワードの</li> </ul>	確認	
パスワードの	確認	
	変更	
	Copyright © 2013-2020 Soliton Systems K.K., All rights reserved.	

新しいパスワードは、6~128文字で指 定してください。

利用できる文字は、記号、空白を含む 印字可能なアスキー文字です。



#### パスワード変更が完了のメッセージが表示されて、数秒後にポータルトップページへ移動します。



サービスポータル利用ガイド

2021年5月21日 第1版

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-4-3 https://www.soliton.co.jp/ 本書に記載されている情報、事項、データは、予告なく変更されることがあります。 本書に記載されている情報、事項、データは、誤りや落丁がないように最善の注意を払っていますが、本書に記載されている情報、事項、 データによって引き起こされた遺失行為、傷害、損害等について、弊社は一切、その責任を負いません。 本書を弊社に無断でその一部、あるいはその全部を複写、複製(コピー)、追加、削除、加工および転載することを禁じます。